



長野市議会

# 新友会だより

2020年  
8月  
夏号

## ごあいさつ



新友会 会長  
三井 経光

長い梅雨が明け、夏本番となり、まだまだ残暑厳しい折ではありますが、市民の皆様におかれましては健やかに過ごしのことと存じます。

昨年9月に改選期を迎えた我々新友会の議員も当選させていただき、わずか数日後から、令和元年東日本台風被害による復旧・復興に全精力を注いでまいりました。

いよいよ復興の計画・目途が見えてきた矢先、新型コロナウイルスの感染拡大があり、市民の皆様の健康被害、注意喚起、経済への懸念など、今まで経験したことのない様々な問題を抱える中、何が市民の皆様のためになるのか、優先的対応は何かなど、会派内で検討し、議会運営を進めてまいりました。

まだまだ予断を許さない状況ではありますが、密

閉・密集・密接の「3密」に注意し、本市の経済活動を止めない施策が求められています。

市民の皆さまの御要望に応えるべく、真摯に議会活動にまい進してまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。



## 国への要望活動 ～台風災害から早期の復興を～

令和元年東日本台風災害は、長野市に歴史的な被害をもたらしましたが、その災害復興や防災事業に必要な費用は長野市の財政力をはるかに超えており、加えて財政調整基金(本市の緊急用の積立金)も取り崩したため、国からの



交付金の支援は必要不可欠であります。被災された市民の皆様の生活の立て直し、そして防災事業(堤防の改修等)は度重なる予測を超える雨量が発生しており、それらを考慮すると一刻も早い復旧・復興が必要です。

新友会としては、被災された市民の皆様の現状を国に対してしっかりと伝え、必要な予算の計上と早期復興事業を求めため、1月31日に所轄官庁である総務省(自治財政局)、国土交通省(水管理・国土保全局)、環境省(環境再生・資源循環局)に、務台俊介衆議院議員、宮島喜文参議院議員に紹介・同行して頂き、長野市東京事務所とともに要望活動をしてまいりました。

その後、国の治水(防災)対策が発表されましたが、総額は約4,213億円で、うち信濃川水系緊急治水対策プロジェクトは、阿武隈川水系に次いで2番目の1,227億円という財源確保が出来ました。加えて、住民から要望されました、破堤箇所(堤防)の改修では、コンクリートによる「被覆(ひふく)型」堤防の工事が採用されました。今後も住民の皆様からのご要望をしっかりと受けとめ、この復興事業が早く進行するよう活動致します。

## 新型コロナウイルス感染症対策として～長野市長に対し独自支援策を要望～

新型コロナウイルスの影響で市内の多くの事業者や販売店、飲食店の経営が切迫した状況下の中、少しでも多くの支援策を模索し、早期実施していこうと会派内で検討し、本市の財政状況や支援策実施の際の財源確保などを行政側と協議し、加藤長野市長に対し、6月18日に6項目の予算要望(第2弾)を行いました。

- ①医療機関への支援と検査体制の充実を図ること
  - ②市内経済の更なる需要喚起を図り、業種・業態を含めきめ細やかな支援策を行うこと
  - ③市内の各種イベントの開催や支援を行い、切れ目ない盛り上げの演出を行うこと
  - ④生活の自粛、学校等の休業などで影響のあるひとり親世帯や子供への支援を行うこと
  - ⑤小中学校の学習の遅れが懸念されるため、学習支援対策を講じること
  - ⑥市民や事業者は一刻も早い支援を求めていることから早急な予算措置を講ずること
- などを主なる項目とし、補正予算に盛り込むことで市民の生活を守るようお願いし

たもので、これに伴い、6月専決補正予算(21億3092万円)、8月臨時補正予算(57億3555万円)に反映していただいた結果となりました。



新友会は、市民の皆様のご意見をお待ちしております。ご遠慮なく、下記にご連絡ください。

●発行所:長野市議会 新友会 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎7F ●発行責任者:三井 経光

TEL.026-226-4911(内線3931) FAX.026-229-6386 長野市議会 新友会 検索 ホームページ:<https://shinyukai-nagano.com/> E-mail:[shinyu@mx1.avis.ne.jp](mailto:shinyu@mx1.avis.ne.jp)

# 新友会モニターアンケートを実施

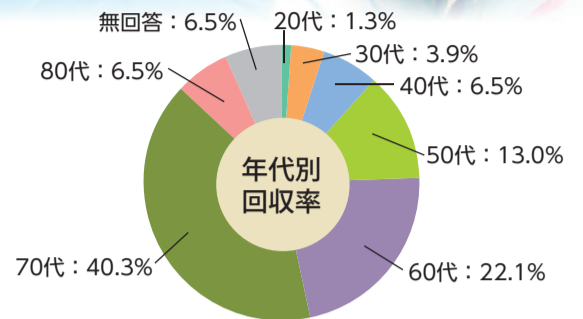
～市民の声を聞き洩らさない～

我々、新友会では年2回のモニター研修会を実施し、各地域の市民の皆さんの声をお聞きし、市政に反映できるようにと活動を続けております。しかし、令和元年東日本台風災害や、今なお続く新型コロナウイルス感染症の影響で研修会が行われずにはいきました。「市民の生の声を聞いてそれを施策に生かすのが我が会派の役目」のもと、会派内で話し合い、現在の市政状況を報告する中でアンケートを取り、皆さまの声を聞くという事になり実施しました。設問ごとに、選択式回答を掲載させていただきます。 ※今回の詳細は「長野市議会 新友会」のホームページで載せていきますのでご覧いただくと幸いです。

○回収率=会員数：114/回収数：77/回収率：67.5%

○年代別回収数（男性・女性別）

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	合計
男性	1	2	2	6	11	15	3	1	41
女性	0	1	3	4	6	16	2	0	32
無回答	0	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	1	3	5	10	17	31	5	5	77



## 1. 住民自治協議会について

長野市では「自助、共助、公助」の補完性の原理のもとに、協働しながら、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるため、「住民自治協議会」という住民主体の自治組織が市内32地区において設立され、10年ほど前から活動が進められています。

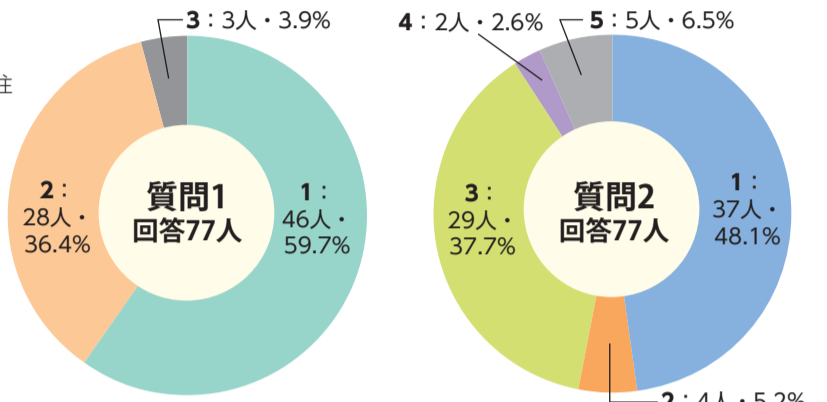
<質問1>この活動を知っていますか？

1. 知っていて、この活動に参加している
2. 知っているが、活動には参加していない
3. 知らなかった



<質問2>この活動をこれからも続けていくべきと考えますか？

1. 大切な活動なので続けるべき
2. 将来的に考えると続けるのは致し方ない
3. 方向性は良いが再検討を進めていくべき
4. なくして元に戻していくべき
5. その他



## 2. 公共施設マネジメントについて

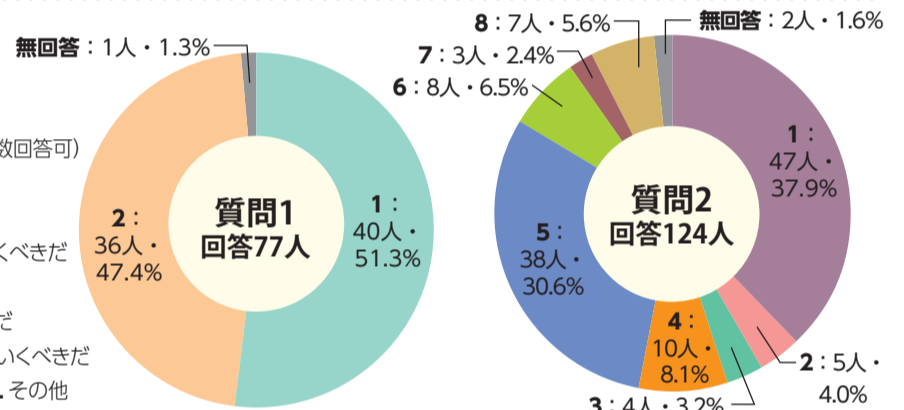
長野市は、今後、多くの施設が更新時期を一齐に迎えることから、その費用は膨大で、すべての施設を維持していくことは困難です。人口減少・少子高齢社会における、公共施設の「量」と「質」を見直すことが必要と考え、大規模改修や建替え等に合わせた複合化や多機能化により、施設総量の縮減を図るとともに、新規整備は抑制します。将来コストの試算では、単純に床面積の削減で今後40年間の大規模改修・更新費用の不足分を解消しようとする延床面積40%以上の縮減が必要ですが、市民生活への急激な影響が懸念されますことから当面今後20年間で20%の縮減を目指します。

<質問1>この計画は知っていますか？

1. 知っている
2. 知らなかった

<質問2>この計画をどう思われますか？(複数回答可)

1. 長野市の現状を考えれば仕方ない
2. 施設が減るのは困るから反対だ
3. 税金を上げてでも公共施設を維持していくべきだ
4. 目標よりもっと減らしていくべきだ
5. 民間への譲渡を積極的に進めていくべきだ
6. 地域の施設は住民自治協議会で運営していくべきだ
7. 新しい施設に建て直していくべきだ
8. その他



## 3. 公共交通について

長野市では、平成22年「長野市地域公共交通総合連携計画」を策定し、バス共通ICカード「KURURU(くるる)」の導入、地域循環バスや乗合タクシー8路線の本格運行への移行を実施し、これにより公共交通の基盤を整えてきたところであります。バス交通を「都市のインフラ」と位置付け、地域の特性に応じた移動手段(コミュニティバス(※1)、乗合タクシー(※2))などの確保・充実に取り組んでいます。

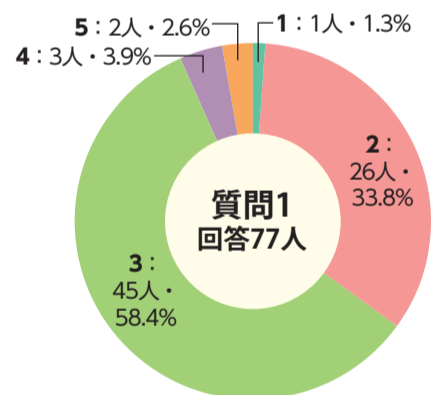
※1 コミュニティバス……地域住民の利便性向上等のため一定地域内を運行するバスで、使用車両、運賃、ダイヤ、停留所の位置等を工夫したバスサービスのこと。 ※2 乗合タクシー……過疎地や交通空白地域等での輸送需要に対応するため、乗合バスではなく、乗車定員10人以下の自動車いゆるタクシー車両を使用した運行形態のもの。

<質問1>公共交通は利用しますか？

1. よく利用する
2. たまに利用する
3. ほとんど利用しない
4. どういったものがあるのか知らない
5. お住まいの地域に走っていない

<質問2>公共交通に対する市の政策はどのように思いますか？(複数回答可)

1. このまま政策を進めていって欲しい
2. 民間バス事業者をやめて、市でバス事業をして欲しい
3. バス・電車は運賃が高過ぎる
4. 住民自治協議会が主体となって、タクシー事業を進めて欲しい
5. 中山間地域でバス運営は無理ではないか
6. その他

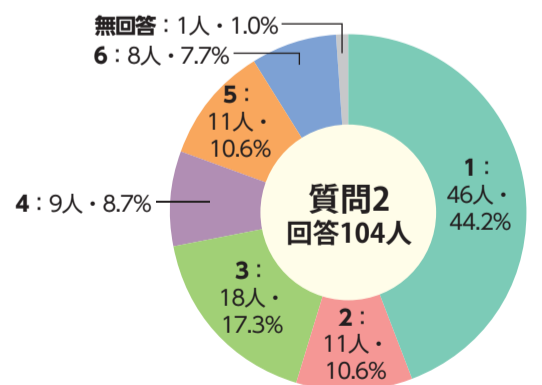
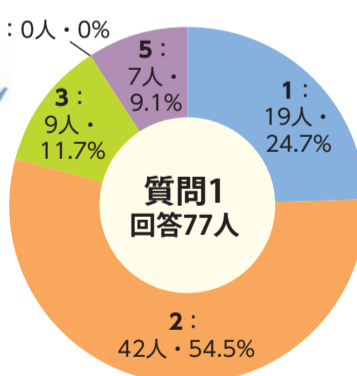


## 4. 台風災害からの対策について

国・県・市が共同で策定した信濃川水系緊急治水対策プロジェクトに基づく治水対策に加え、地域コミュニティの再構築や産業振興などを盛り込み、安全・安心のまちづくりを進めています。

<質問1>災害復興の途中ではありますが、長野市の支援策はどう思いますか？

1. 被災者の要望に添ってよくやっていると思う
2. 足りない事もあるが、まあまあだと思う
3. まだまだ足りない事だらけだと思う
4. 何にも出来ていないと思う
5. その他



## 5. 新型コロナウイルス感染症の対策について

長野市は中核市のため、独自で長野市保健所を持つことが出来ます。7月6日時点で長野市管内では19例の感染者が確認されておりますが、死者を出すことなく至っています。(現在入院者は1名)。本市ではPCR検査体制の拡充や独自の支援策などが行われています。

<質問1>新型コロナはまだ予断を許さない状況ですが、長野市の対応策をどう思いますか？

1. 感染拡大を抑えて、よくやっていると思う

2. 足りない事もあるが、まあまあだと思う
3. まだまだ足りない事だらけだと思う
4. 何にも出来ていないと思う
5. その他

<質問2>市長は、国、県及び関係機関と連携を図りつつ、各種支援策の充実と地域経済の回復に向けた事業を積極的に展開していくとしています。これについてどう思いますか？(複数回答可)

1. どんどん事業を進めていくべき
2. こうした事業は控えた方が良いのではないかと
3. 不安だが、経済活動は仕方ない
4. まだ外出を自粛すべき
5. その他

